

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和3年度第1回戸田市立郷土博物館協議会
開催日時	令和3年11月22日（月）午前10時から午前11時45分まで
開催場所	戸田市立郷土博物館 3階 講座室
委員長等氏名	戸田市立郷土博物館協議会 会長 佐藤勝巳
出席者氏名 （委員）	佐藤勝巳、若松良一、長谷川理、高橋美保子、伊藤裕厚、御園生誠子
欠席者氏名 （委員）	板橋哲
事務局	高屋課長、本橋主幹、伊藤副主幹、飯尾主任、金子主事
説明のため 出席した者	なし
議 事	（1）令和2年度郷土博物館・彩湖自然学習センター事業報告について （2）令和3年度郷土博物館・彩湖自然学習センター事業計画について （3）彩湖自然学習センター三年改善プロジェクト達成状況について （4）郷土博物館ビジョン（案）について （5）その他
会議結果	生涯学習課郷土博物館担当から議題の内容について報告をし、報告事項に対して郷土博物館協議会委員から意見を聴取した。
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 郷土博物館・彩湖自然学習センター事業報告【令和2年度】 郷土博物館・彩湖自然学習センター事業計画【令和3年度】 ・資料2 彩湖自然学習センター三年改善プロジェクト達成状況 ・資料3 郷土博物館ビジョン（案） ・資料4 小学6年生オンライン郷土博物館授業 ・資料5 赤ちゃんの駅登録 ・資料6 イオンモール北戸田生物多様性イベント相互送客事業 ・資料7 企画展リーフレット ・資料8 令和2年度第2回戸田市立郷土博物館協議会（書面会議）における意見への対応
議事録確定	令和3年11月28日 戸田市立郷土博物館協議会 会長 佐藤 勝巳

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	1 開会 事前配布資料（資料1～資料8）の確認。 板橋委員から欠席の連絡があった旨報告。 戸田市立郷土博物館条例施行規則第16条第2項の規定における成立要件となる委員の過半数の出席を満たしていることを報告。
会長	2 会長あいさつ
事務局	3 事務局職員の紹介
事務局	議事の進行については、戸田市立郷土博物館条例施行規則第16条第1項の規定により、会長が務める。
会長	※議事に入る前に傍聴人はいない旨報告。
会長	4 議事
事務局	(1) 令和2年度郷土博物館・彩湖自然学習センター事業報告について資料1に基づき、事務局から説明。
会長	議事(1)について、委員の方から何かご意見・ご質問等あるか。
委員	4ページの郷土博物館の中でオリンピック企画展が中止になり、旬ではなくなったが、今後開催予定はあるのか？
事務局	令和3年度の事業計画の中で説明する。令和2年度に実施できなかったものを令和3年度に実施ということになる。
委員	県立の博物館が閉めている中で開館をしたのは、勇気がある決断だったと思う。教育の旗を降ろさなかった姿勢は評価したい。その割には入館数が少なかったのは残念であった。

会長	市の方針として、図書館・博物館や公民館の対応は一律で決まっていたのか。それとも各課で任されていたのか。
事務局	国や県等の方針に則った形で、市の対策本部において、対応は一律で方針が示されていたので、基本的にはそれに則って行った。細かい注意点等に関しては、公益財団法人日本博物館協会のガイドラインがあるので、それぞれの細かい部分はそういったところを参考に運営を行った。
会長	それぞれの館で苦慮したのではないかと思う。災害と同じような状況になって、限られた人数でやらなければならない中で、令和2年度は特筆すべき状況の中で対応したということで記録として残す必要があると思う。令和2年度の詳細な記録は、ぜひ残していただきたい。
事務局	(2) 令和3年度郷土博物館・彩湖自然学習センター事業計画について資料1に基づき、事務局から説明。
会長	議事(2)について、委員の方から何かご意見・ご質問等あるか。
委員	今、新型コロナウイルスは落ち着いてきているが、展示やイベントを行う際は宣言が出たら中止にするが、そうではない場合は極力対策をとって行う方針なのか。
事務局	基本的に国や県の方針に基づいて、市の対策本部が方針を決めるのでそれに則って行う。昨年度、緊急事態宣言で最も状況が厳しかった時は、全面休館という対応だったが、ワクチン接種も進んでいく中で、全面休館という事態は今の時点で発生していないので、その中で事業や展示等を行っていく形になる。展示等をするにあたり、日本博物館協会が詳細なガイドラインを出しているのでそちらに則って実施していく。講座等も元々行っていた人数に戻せるかといえは厳しいところがあり、両側の人との間隔を少なくとも2m程度確保するなど、細かな運用基準に基づいて講座等の人数を設定して様子を見ているというところである。
委員	彩湖自然学習センターの「こども自然クラブ」講座は小学生対象であるが、

事務局	<p>その後卒業した後、手伝いとかをすることはあるのか。</p> <p>こども自然クラブの卒業生は、中学生、高校生になった段階でボランティアとして来ていただいている。令和3年度はコロナということもありご遠慮していただいているが、収まってくればまたそのような形をとって次の世代へ繋げていけたらと思っている。</p>
委員	<p>新型コロナウイルスの関係で、講座参加者は激減したのか。変わらないのか。</p>
事務局	<p>博物館の状況をお伝えすると、コロナの状況がひどかった時はなかなか参加いただけなかったが、少しずつ落ち着いてきて、親子で参加をしたいという方も増えてきた。火おこしは用意するものもないので、募集をかけると申込としては多い。参加者も不安だと思うので、相互の間隔をとり、火おこしの際はゴム手袋を用意させていただいて、消毒をしたうえで体験をしてもらっている。ただ、ゴムアレルギーがあるお子さんもいるので、その場合はつけなくてもよいなど、その都度臨機応変に対応している。</p> <p>彩湖の講座の申し込み状況は、電話で実施日の1ヶ月前に受付をしているが、開館時間である10時受付開始で電話2台鳴りっぱなしで15分～20分で定員に達して、あとはお断りをしている現状である。こういう状況でも申込は相当ある。それに代わる手段が難しいので、たとえば事前に連絡をいただければ、彩湖自然学習センターの学芸員がミニ彩湖等を案内するという説明をして、もしよければ電話をくださいといったこともお伝えして、対応をしている。ほとんどの講座は、すぐに定員に達してしまう。</p>
委員	<p>野外だけではなく、室内の講座でも同じか。</p>
事務局	<p>室内の講座でも、基本的には申込は多い状況である。</p>
会長	<p>コロナウイルスの関係で他のところに行けないということもあると思うので、公共施設としてそういうところに配慮してやってもらえるとありがたい。</p>

委員	十分に対策をして行っているので、安心して気楽に来館してくださいというPRをしておいた方がよいと思う。黙っていると警戒心のある方は来ないと思う。
会長	せっかく良いことをやっているなので、ぜひ安心して来てくださいというPRは必要かもしれない。
委員	空調や入館者数に配慮して安全性を確保しているので、気楽に来館できるという感じは出して欲しい。自然に任せているとなかなか元の状態に戻すのは大変だと思う。
会長	ボランティアというお立場から委員にお尋ねをしたいが、一般の方で学校にボランティアとして入っている方たちは、現在どういう状況で学校と連絡をとっているのか。
委員	コロナの感染者数が増えていた時期は、学校もボランティアもお互い警戒心を持っていた。今は感染者数も減っているので、この間学校に行ったときは緊張感もそれほどなかったが、マスクをして行っているという形だった。
会長	学習活動の再開ということで、博物館や彩湖も学校との活動も多くなると思うので、ぜひその辺も配慮しながら、再開に向けてやっていくことが必要かなという気がする。
事務局	(3) 彩湖自然学習センター三年改善プロジェクト達成状況について資料2に基づき、事務局から説明。
会長	議事(3)について、委員の方から何かご意見・ご質問はあるか。
委員	児童施設の来館が増加したとあるが、児童施設とは、例えばどういうところか。
事務局	児童施設等というのは、例えば放課後等デイサービスなどである。過去に来館いただいた団体や施設宛に、令和元年度に案内通知を発送した。開館延

	<p>長の時期だったのでチラシも同封して送付した。コロナ禍では来館はなかったが、今年度は復活しているかと思う。隣接している和光市や東京都等の施設も来館している。</p>
委員	<p>団体で来館したというよりは、児童施設を利用した方が来館したということか。</p>
事務局	<p>施設の方が施設利用者を引率し、来館されたということである。</p>
会長	<p>そのような利用は今までもあったのか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
委員	<p>施設の名が浸透してきたということか。</p>
事務局	<p>ホームページやカワセミ通信にみどりパルと掲載している。</p>
会長	<p>課題1番目の施設の老朽化に関する改修で、最低限の内容となったと評価にあるが、予算を要求して直す予定はあるか。それともこれで終わりか。</p>
事務局	<p>この後も予算要求は行っていくが、あとはどうなるか分からない。ただ、これで終わりにしないよう努める。</p>
事務局	<p>(4) 郷土博物館ビジョン（案）について 資料3に基づき、事務局から説明。 郷土博物館ビジョンは今回初めて作成するものなので、内容についてご意見等がある場合は、令和3年12月末までに電話やメール等で事務局までご連絡いただきたい旨説明。今後の流れとして、委員からいただいたご意見等を反映した形のビジョン（案）を令和3年度第2回郷土博物館協議会（令和4年1月開催予定）に改めてお諮りし、その後、令和4年2月の教育委員会定例会に議案として提案する予定である旨説明。</p>
会長	<p>議事（4）について、委員の方から何かご意見・ご質問はあるか。</p>

委員	<p>かなり予算がかかるのではないかという企画もあると思うが、その辺りは12月末までに意見を出す場合に配慮は必要か。</p>
事務局	<p>計画期間が令和4年度から令和8年度ということで、この期間内に方向性が出来ればということでご提示をしている。施設の老朽化や展示物の更新は費用面も発生するので、今後、財政当局との調整が必要になってくることもあるが、必要なものについては改修等していきたいということがある。一方で実際問題としては、限られた予算ということもある。例えば、オンラインの配信については、本庁でも配信に力を入れており、Zoomなどを各担当課ではなく、市全体として予算化して取り組んでいるという状況があるので、そうしたものを活用しながら、積極的に展開していきたいと考えている。また、今年度購入した高性能カメラを活用して、YouTubeなどの配信をしていきたいと考えている。限られた予算の中で展開していきたいと考えている。</p>
会長	<p>ビジョンの機能1にもあるが、特に博物館は調査研究に必要な人材が手薄になっていると思われる。非常に苦慮していると思うが、専門性のある学芸職員の確保、常勤職員の確保について取り組んでもらいたい。また、博物館にはアーカイブズ・センターも設置しており、アーキビスト職員の確保も行ってもらいたいので、ビジョンにもアーキビストの一文を盛り込んでいただきたい。なお、歴史的公文書については、今後開設が予定されている公文書館にも関連してくるので、所管課とは十分に打ち合わせや擦り合わせを行って、単独で突っ走らないようにしてもらいたい。</p>
委員	<p>ビジョンの機能1を見ると戸田ヶ原の自然再生事業とあるが、自分も昔、彩湖の事業でコチドリを呼ぼうということで石を撒いたが、木が生えてしまった。いろいろな部署が関わっていて、やりっ放しの所も見受けられるが、誰が知って誰が管理しているか、終わった後も考えて欲しい。</p>
事務局	<p>戸田ヶ原自然再生事業を中心として行っているのは、みどり公園課と水と緑の公社が事業を行っている。彩湖自然学習センターも委員として出席している。同じ道満グリーンパークの中で、連携してやらせて欲しいという発言はしている。色々情報交換はしている。</p>

事務局	<p>議事（５）その他 資料４～資料８に基づき、事務局から説明。</p>
会長	<p>議事（５）について、委員の方からご意見・ご質問はあるか。</p>
委員	<p>オンラインの取組というのは、短絡的な面もある。現在は新型コロナウイルスの影響で緊急対応としてオンラインで行っているのであって、学校側にこれが標準仕様だと思われないようにしてもらいたい。オンラインはあくまでもガイダンスとして博物館の大体を伝えるものであって、本物の持つ力はまた別なのだということを学校側、先生に案内するべきである。来館を促すために家族で使えるような招待券を作ったりするのもいいのではないか。深く自然や歴史を愛する人を育むためには、バーチャルだけではなく、実際に本物の資料を見てもらうことを大切にしたい。</p>
事務局	<p>オンライン博物館授業の最後には、ぜひ実際に博物館に遊びに来てということ子どもたちに案内している。この後、学校にアンケートを取って改善する。博物館に来てもらえるようなきっかけの１つになったらよいということで行っている。</p>
会長	<p>オンラインは便利だが、実物を見るという博物館の役割を放棄するようなことがないようにお願いしたい。</p>
委員	<p>オンライン博物館授業では、子どもたちとのやり取りはあるのか。一方的な説明で終わりにしているのか。やり取りの中で、子どもたちの反応が見られるというのが大事なことだと思う。</p>
事務局	<p>授業の中でワークシートを使う際には、博物館側から子どもたちに、「自分たちで気づいたことなどをワークシートに書き出してみよう」などの呼びかけはしながら進めている。市内の小学校でも、４クラスや５クラスなどクラス数が多い学校もあり、４５分という授業時間の中では子どもたちとのやり取り時間が取りにくい状況もある。</p>
委員	<p>１クラスずつやっているのではないのか。</p>

事務局	<p>基本的に学校ごとに一学年単位で実施している。先日一番多かった時は、2校同時だったため9クラスでの開催だった。1コマの授業時間内では、なかなかゆっくり時間を取れる状況ではないため、質問など双方向でのやり取りは今のところ行っていない。学校によっては、授業の終わりに先生が促してクラスごとにお子さんが感想を述べたりすることはある。</p>
委員	<p>博物館活用検討委員会があると思うが、どのような関わり方をしているのか。</p>
事務局	<p>今年度は、新型コロナの影響で博物館活用検討委員会の活動を中止しているので、オンライン博物館授業については活用検討委員会の関わりは今のところない状況である。なお、教育センターの若村指導主事とは、年度当初から博物館授業の実施について打ち合わせを重ねており、その中で各学校の先生方との個別の意見交換等の際に、民間事業者などとの間で実施したオンライン授業に関する意見があったということを伺い、今回一つの試みとしてオンライン形式を選択したところである。</p>
会長	<p>本日の全ての議事が終了したので、進行を事務局へお返しする。</p>
事務局	<p>5 閉会</p> <p>令和3年度第2回戸田市立郷土博物館協議会については、令和4年1月の開催を予定。詳細が決まりしだい、改めてご連絡する旨説明。</p> <p>午前11時45分終了。</p>